

2009年(平成21年)3月3日号

16回目のセミナー開催

REB100社の会

不動産会社を中心としたビジネス研究会である「REB(レブ)100社の会」(代表世話人・清水修司氏)「SD建築企画研究所社長」はこのほど、東京駅前パシフィックセンチュリープレイス内で16回目となる交流会を開いた。写真。今回も多数の関係者が参加。来賓として招かれた藤田和夫・全国宅地建物取引業協会連合会名誉会長のあいさつの後、不況に負けないビジネスチャンスを含めとしたセミナーを開催。その後、参加者全員による名刺交換を兼ねた懇親会が行われた。



日刊 不動産経済通信

◎REB100社の会、約260名が参加

不動産情報・ビジネス交流会「REB100社の会」(代表世話人・清水修司・SD建築企画研究所社長)は、第16回「不動産ビジネスの商機を拡大するセミナー&情報交流会」をこのほど開催し、263名が参加した。

全国宅地建物取引業協会連合会の藤田和夫名誉会長が来賓として挨拶。セミナーは、第1部で司法書士の松中映比子氏による「不動産業における有事の際の生き残り戦略」、第2部でジャパン・アセット・アドバイザーズの南一弘社長による「ビッグチャンス(混迷化でのマーケット)における負けない不動産投資とは!」と題した講演などが行われた。次回は3月26日に行う予定。

週刊 住宅

2009年(平成21年)3月2日

ビジネス交流会
盛況のうちに開催
REB100社の会
不動産業者のビジネス
交流を目的にしたREB
100社の会(清水修
司代表世話人)は24日、
パシフィックセンチュリ
ープレイス丸の内、第
16回「不動産ビジネスの

商機を拡大する」セミナー
と情報交流会を開いた



写真

同会は月1回の頻度で開催されているが、回を追うごとに参加者が増え、当日の会場には補助席と立ち見がでる盛況ぶりだった。司法書士の松中映比子氏が生き残り戦略について、不動産投資アドバイザーの南一弘氏が負けない不動産投資と題し講演した。

情報交流会の冒頭では、扶桑レクセルの寺田讓事業部長が「私たちは大京の首都圏第3プロジェクトとして新生します。これまでのご厚情に感謝し、一層のご支援を」と情報提供への協力を訴えた。